

# 波動 - 小学生発：夢をつないだ木の波打ち寄せる遍路小屋 -



完成した「波動」  
この高校生たちが施工になった。



高知県安芸市にある大山岬は、太平洋に突き出た岬で弘法大師ゆかりの聖地でもあります。ここにはもともとお遍路さんの休憩所として、あずまやが建っていましたが、平成17年の台風で流失し、地元では再建が望まれていました。

高知県建設系教育協議会では、会の設立から、建設を学ぶ学生たちへの教育には、実際に設計・施工を行うことが一番効果的だと考え、建設を行う場所を探していました。地元と当協議会、双方の思いが重なり、当協議会があずまやを設計・施工することとなりました。

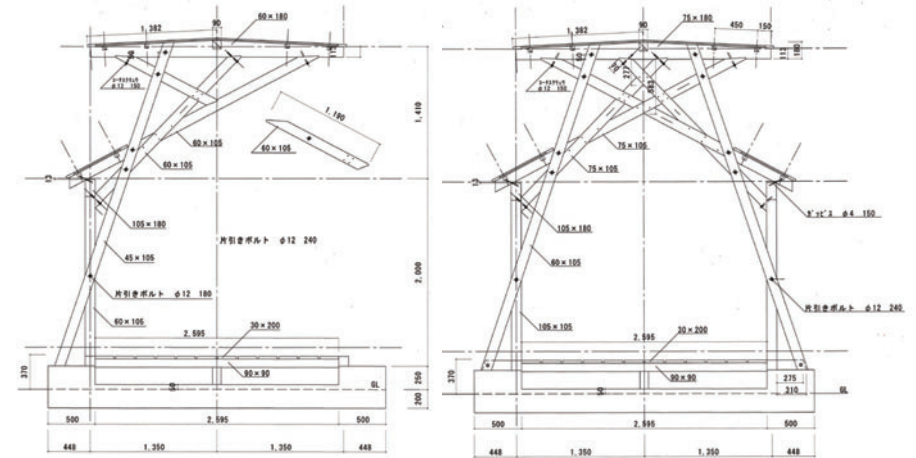
どんな休憩所がここであればいいのか？まずはそのイメージを小学生が描きました。高校生がその絵を建築の図面にしました。しかし、それは集成材を使用しないと実現不可能な曲線アーチによる案でした。そこで大学生チームはそれを地元で容易に入手できる高知県産の檜の線材の組み合わせで再構成し、実施設計化しました。最後に高校生が建設を行い、あずまやが完成しました。

太平洋の力強い波をモチーフにしたこのあずまやは「波動」と名付けられました。みんなの夢が小学生から大学生まで実に3年の月日をかけてリレーされ、それが地元の木材をふんだんに活用した「波動」として完成しました。なお「波動」のメンテナンスは今後も地元高校生によって担われていきます。夢はどこまでも継続していきます。



小学生が描いた遍路小屋。  
台風でなくなった遍路小屋の再建イメージを自由に描いた。

高校生案  
波が交差する力強い提案であるが、集成材を使用しないと実現できない提案であった。



高校生案の実施設計化  
曲線アーチを檜の線材で再構成。900ミリピッチで再構成アーチ(右)を配置し、その間300ミリピッチで片持ち軸組(左)を交互に挟み込みこんで波を表現した。

